

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	備考	担当課
1	<p>高齢化のスピードが速い中で、農業世帯において後継者がいない家庭が多くなっている。5年後を考えると耕作放棄地が徐々に増加するのでは。地域での取組も限界がそこまできているように思う。行政としての支援やアドバイス、山間部の活性化に向けた計画などあれば聞かせてほしい。</p>	<p>農業を兼業とし、別に勤め先があれば農村の人口流出を防げるのではないかという面から町では農業を振興しつつも就職先の確保も進める考えです。担い手への農地集や小規模の農地維持、企業の誘致等による就職先充実等により両面から推進していきます。 (中山間地の棚田法や農地集積、サカキの栽培、創業セミナー、無料職業紹介所、空家バンクなど説明)</p> <p>→棚田振興法の指定を令和3年10月に受けました。この指定によって活用が可能となる支援事業の検討や、佐賀県の「それぞれの中山間チャレンジ」事業を活用して、園部で活動する「そのべFarmers」を支援することによる農業関連の活性化を図ることとしております。</p> <p>また、農業施策に限らず、企業誘致や住宅開発の意向も含めた、山間部地域の将来について、地域や集落との話し合いを行いながら進めていきます。</p>	産業	産業振興課長		産業振興課
2	<p>県道137号線(基山・平等寺線)で福岡側からの車両が多く、スピードも出ている。 特に小中学生の登校や通勤時間帯であるAM6:30~8:30頃に集中。 黒目牛から小原にかけてはカーブが多く見通しが悪いので、注意喚起の道路標識などお願いしたい。</p>	<p>早速警察に立ってもらったところスピード超過は出ませんでした。ただし、警察が立っていないければスピードがあがる可能性があるため、定期的な実施をお願いしています。状況を見て看板やカラー舗装など考えていきます。</p>	くらし	町長		住民課
3	<p>(No.2に関連して) 警察に立ってもらったとのことだが、どのあたりで行ったか。 小松地区の上のあたりでスピードが出ているのだが。</p>	<p>浄水場の下の広いところで行ったが、更に上の箇所ではスピードが出ているということであれば、今回は場所を変更します。</p>	くらし	町長		住民課

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	備考	担当課
4	<p>下水道についてバイパスから上は合併浄化槽で対応とのことだったが、浄化後の排水の距離が長い。山の上の方は側溝に流れ着くまでの距離が長く、途中敷地内や隣家を通るケースがある。結局、詰まりを起こしたり土砂崩れなどが起きたときは隣近所で何とかしなくてはならない。そのあたりも整備してほしい。</p>	<p>本年度4月より新設した公共工事計画室で、            ①道の舗装等の優先順位づけ            ②ため池や側溝、遺跡保存などに関する地域・行政の負担調整            を行っています。質問にあった側溝に関する問題も検討事項として挙げるように指示し、他の地区にも同様の問題がおきていないかの調査含め急ぎ検討します。</p> <p>→宅地内を通る水路については、ほかの地区でも同様のケースが無いか調査しました。            宅地から排水される個人所有(財産)の水路は、市街地等にも数か所ありましたが、水路は個人財産となることから利用者が管理されていました。また、農業用水に上下流域で利用されている場合、農業用施設の水路として町の補助金制度がありますが、御質問の水路では該当しませんでした。これらのことから個人所有の水路に対し町での補助などの対応は難しいものがあります。            つきましては、各家庭の浄化槽排水だけであれば少量のため土砂崩れに対応できる暗渠排水管形式が安価にできますので、利用者皆様に整備の御検討をお願いします。</p>	くらし	町長		建設課
5	<p>タングステン北の公園(グリーンパークの一角)について。昔は初詣などに活用されていたが、現在は竹林が大半を占め、春先などはイノシシが走り回っている。年に1度、法面の草刈りは小原の住民で行っているがイノシシは小原まで降りてきており、タングステンまで降りていくのも時間の問題。            また、そこに行く町道も荒れていて通れない。担当課に言ったが改善されない。</p>	<p>グリーンパークについては、今後企業誘致の土地として更に広げられないか構想しています。しかし、法面の実態についてどうなっているか、住民の方との関係性などはまだ把握できていませんでした。町道の件も含め調査し、次回の運営委員会で地域担当職員から報告します。</p> <p>→日本タングステン北の公園(緑地)の除草については、不定期に行います。また、令和3年11月に旧サイクリングロードの倒木や土砂崩壊に対し撤去を行い道路復旧を行いました。            グリーンパーク西側の町道田原2号線、長浦1号線では令和3年の大雨での法面崩壊もありましたので、土砂撤去と法面復旧に併せて道路側溝の新設を行い路肩補強などの道路修繕を行いました。</p>	くらし	町長		建設課

No.	質疑内容等	回答など	分野	回答者	備考	担当課
6	町道について、整備がされていない小さい道が多々ある。黒目牛や小松など、町に申し出たが改善されていない。	<p>これまで、建設課に寄せられた町道に対する申し出がデータとして処理されてきませんでした。今はそういった申し出をデータとして処理、要望があった箇所をリスト化しています。いずれはHPなどにそのリストから「本年度はどこを着手するか」を公表できるようにしたいと考えています。ただ、町全体で要望箇所がかなり多く、人通りなど考慮し優先順位をつけてやっていくので順番をお待ちいただくようお願いいたします。</p> <p>→今年度黒目牛地区では、災害対応により町道黒目牛・若松線の路肩修繕2箇所及び横断水路のつまり解消と横断溝部の改良を1箇所行いました。小松地区においては、倒木の撤去や側溝部の堆積土撤去、舗装面の補修を行いました。</p> <p>常に利用される生活道路については、建設課で随時修繕等の対応をしておりますが、山林へつながる道路については地域皆様方の御協力穴埋め等補修を行っています。</p>	くらし	町長		建設課
7	町道について、アダプトプログラムに加入されている方と協力する仕組みづくりができないか。 例えば道路に小さい穴ができているとき応急補修用のアスファルトは500円くらいで買えるので、施工はアダプトプログラムの方がボランティアで実施し、かかった材料費は後日町に請求するなど。	<p>現在アダプトプログラム登録者による、道路補修は、行っておりませんが、未舗装道路など一部の道路では、町から材料をお渡しし、有志による穴埋めを行っていただいております。</p> <p>今後は、アダプトプログラムの拡充を制度化してまいります。</p>	くらし	町長		建設課
8	中山間地の振興については以前「観光農園」を増やすことや「農産物加工工場」が検討されたが、方向性は変わっていないか。	<p>方向性は変わりません。</p> <p>ただし、(加工場については)今あるライチ・ブルーベリー・イチゴをどう繋げていくか役場内で検討ができない現状にあります。もし9月に棚田地域振興法で認定を受けることができれば、そういった検討に必要なFS調査の費用に充てることができるだろうと考えています。</p> <p>観光農園についても、駐車場や道の整備などに対し農林水産省の補助はあります。町営の観光農園という訳にはいかないのが、国・町・地域が連携し作っていくことが必要で考えているところです。</p> <p>また、後継者問題で農地を手放したいという人が2区の中でも増えており、そのあたりのデリケートな問題も内包している現実があります。農業関係者のみの小規模な場や本音を聞ける場をもらえればぜひお願いしたいです。</p>	産業	町長		産業振興課